

## 調査

## 2021年の県内経済活動の回顧

2021年の県内経済活動を振り返ってみると、県内の新型コロナウイルス感染数が年間で8,571件となるなど、2020年に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大による影響を強く受けた1年となった。特に、休業要請や外出自粛による影響を受けた業種や業態の業況が低調に推移した。

そこで本稿では、主な経済指標を基にコロナ禍における2021年の県内経済活動について再確認してみたい。

## 1. 2021年の県内経済概況

**消費動向** 大型小売店販売額は、飲食料品の売上が伸びたことなどから、前年比+0.7%となった。

コンビニエンスストア販売額は、外出自粛などにより人出が増えないことから、前年比△1.0%となった。

ドラッグストア販売額は、食料品の売上が伸びたことに加え、店舗数が増えたことなどにより、前年比+3.3%となった。

乗用車新車登録台数は、普通乗用車が前年をわずかに上回ったものの、小型乗用車、軽乗用車がどちらも前年を下回ったことから、合計では前年比△7.2%となった。

**住宅投資** 新設住宅着工戸数は、持家と給与が前年を上回ったが、貸家と分譲が前年を下回ったことから、全体では前年比△0.8%と5年連続で前年実績を下回った。

**公共投資** 公共工事前払保証請負額は、国、県、市町村の発注がすべて前年を下回ったことから、合計では前年比△35.2%となった。

**生産活動** 鉱工業生産指数（季節調整済指数）をみると、前年比では持ち直しの動きがみられ、4月以降、10月を除いて前年実績を上回った。

**雇用動向** 雇用情勢は、有効求人倍率（原数値）が緩やかな上昇基調で推移した。また、主要産業別の新規求人数をみると、卸・小売業以外の建設業、製造業、宿泊・飲食サービス業、サービス業が前年比で増加した。

<県内の主な経済指標の前年比増減率>

(前年比)

項 目	2021年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	
個人消費	大型小売店販売額(%)	0.7	△0.6	△3.8	△0.8	△1.1	0.2	△4.6	△0.8	△4.7	1.7	2.4	0.5	0.6
	コンビニエンスストア販売額(%)	△1.0	△3.4	△4.4	1.3	4.3	1.0	△1.8	2.8	△5.2	△1.4	△1.9	△2.5	△0.1
	ドラッグストア販売額(%)	3.3	8.6	△2.5	△3.2	△1.6	3.7	4.5	7.0	3.3	4.8	6.0	4.3	5.3
	乗用車新車登録台数(%)	△7.2	△2.0	△3.3	6.3	22.1	48.3	△8.0	△12.6	△8.8	△38.1	△32.1	△11.3	△13.0
投資動向	新設住宅着工戸数(%)	△0.8	△18.9	△19.5	△21.0	△6.2	53.6	△5.4	1.1	32.2	1.2	2.6	0.9	1.1
	公共工事前払保証請負件数(%)	△14.1	△3.2	△35.4	△39.3	△17.1	△4.0	△14.8	△9.0	△4.2	△4.3	△8.6	△11.2	△29.5
	公共工事前払保証請負金額(%)	△35.2	60.6	18.0	55.9	△23.8	△22.2	△16.1	△24.7	△67.4	△65.8	△73.1	△69.5	△36.8
生産活動	鉱工業生産指数(%)	2.0	△8.8	△14.7	△5.0	3.2	10.7	15.1	8.9	14.0	6.1	△2.5	3.8	2.0
雇用情勢	有効求人倍率(ポイント)	0.03	△0.24	△0.17	△0.12	△0.07	0.01	0.08	0.13	0.11	0.15	0.13	0.13	0.17
	新規求人倍率(ポイント)	0.10	0.02	△0.18	△0.09	0.10	0.08	0.32	0.50	△0.11	0.18	0.21	△0.15	0.51
企業倒産	企業倒産件数(%)	△30.6	△66.7	0.0	△80.0	△83.3	66.7	14.3	0.0	16.7	0.0	△84.6	40.0	66.7
	倒産負債総額(%)	83.7	△68.4	2,544.3	△13.2	△90.1	202.8	154.2	446.9	△68.4	385.3	△86.1	535.9	3,536.8

(注1) 大型小売店売上高は全店舗ベース。

(注2) 鉱工業生産指数、有効求人倍率、新規求人倍率は原数値。

(注3) 企業倒産は負債総額10百万円以上。

(注4) 速報値を含む。

## 2. 福島県景気動向指数（CI = コンポジット・インデックス）

福島県の景気動向指数（2015年=100）より、景気とほぼ同じタイミングで動く一致指数の推移をみると、2021年1月の61.9ポイントから上昇して7月が76.1ポイントで最高となった（図表1）。8月以降は70程度のほぼ横ばいで推移しており、12月は71.8ポイントとなった。

2021年における一致指数採用系列の動向をみると、1月から7月までの上昇局面では有効求人倍率、所定外労働時間指数がプラスに寄与した月が多かった（図表2）。また、月々の不規則な動きを平準化する3カ月後方移動平均<sup>\*</sup>は、12月に72.4ポイントで1月と比較して+14.7ポイント、変化の定着を確認する7カ月後方移動平均<sup>\*</sup>は、12月に73.0ポイントで1月と比較して+20.0ポイントとなった。

※3カ月後方移動平均は当該月を含む過去3カ月の平均値で、7カ月後方移動平均は当該月を含む過去7カ月の平均値。

## 3. 需要動向

### (1) 個人消費

#### ① 大型小売店販売額

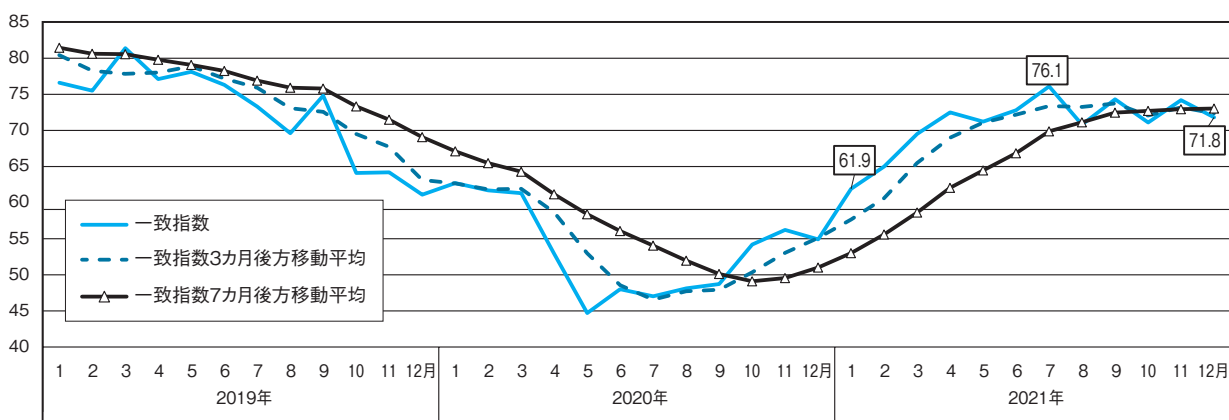
2021年の県内大型小売店販売額は2,780億円（前年比+0.7%）となった。外食を控えた内食や中食<sup>\*</sup>の増加で飲食料品の売上が伸びたことや店舗数が増加したことなどから、前年実績を上回ったものとみられる（図表3）。

※内食は素材から調理したものを家で食べる。中食は総菜や弁当などを買って家で食べる。

#### ② コンビニエンスストア販売額

2021年の県内コンビニエンスストア販売額は2,027億円（前年比△1.0%）となった。外出自粛や観

図表1 福島県景気動向指数 CI一致指数の推移



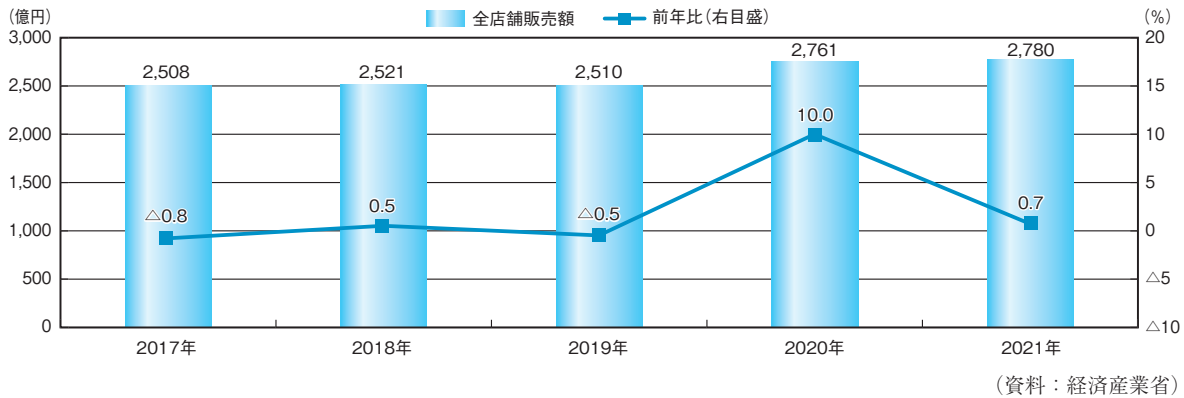
(資料：福島県企画調整部統計課)

図表2 一致指数採用系列の寄与度

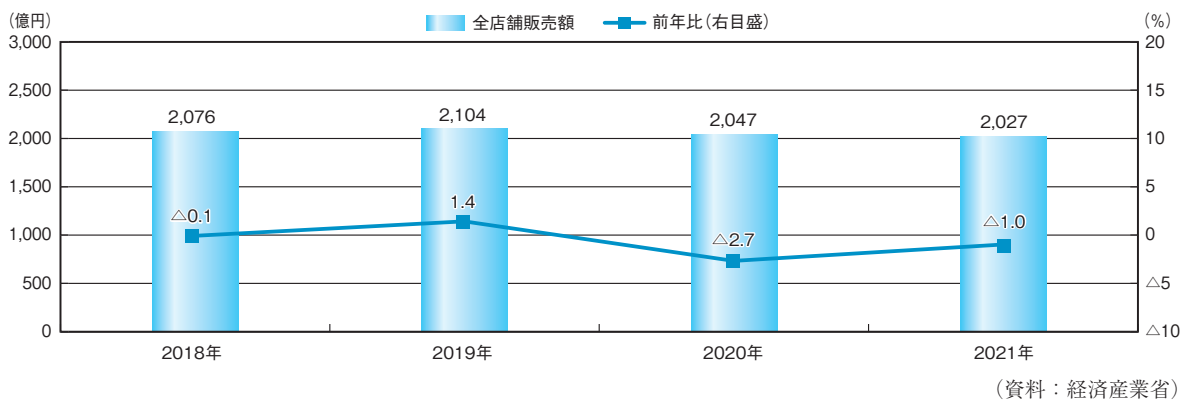
	2021年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
雇用保険受給者実人員（逆サイクル）	0.88	1.86	0.56	△0.67	1.53	△1.41	0.94	△0.80	0.66	△0.16	0.51	△0.99
有効求人倍率	0.36	0.89	0.64	0.09	△0.81	2.20	1.30	△1.50	0.66	△0.55	0.69	1.20
所定外労働時間指数（全産業）	△0.04	1.13	0.74	0.32	0.30	0.41	0.52	△2.09	1.11	△0.68	0.10	△0.70
鉱工業生産指数	1.39	△0.63	1.96	0.23	△0.75	0.98	0.85	△0.17	0.40	△0.71	1.05	△0.97
最終需要財出荷指数	1.58	△0.77	1.34	0.46	△1.37	△0.83	1.80	△2.10	0.80	0.04	0.15	△0.98
生産財出荷指数	△0.45	△0.81	0.98	1.72	△1.66	1.87	△0.90	△0.30	△0.44	△0.71	1.17	△1.43
百貨店・スーパー販売額（既存店、前年同月比）	△0.08	△0.57	0.48	0.11	0.18	△0.65	0.56	△1.01	1.22	△0.66	△0.14	0.03
建築着工床面積（鉱工業）	0.35	0.63	△1.17	1.10	△0.21	0.75	△0.94	1.33	△0.66	1.01	△0.61	1.01
手形交換金額（1枚当たり、前年同月比）	0.27	1.34	△1.03	△0.39	1.52	△1.74	△0.88	1.43	△0.31	△0.78	0.16	0.47

(資料：福島県企画調整部統計課)

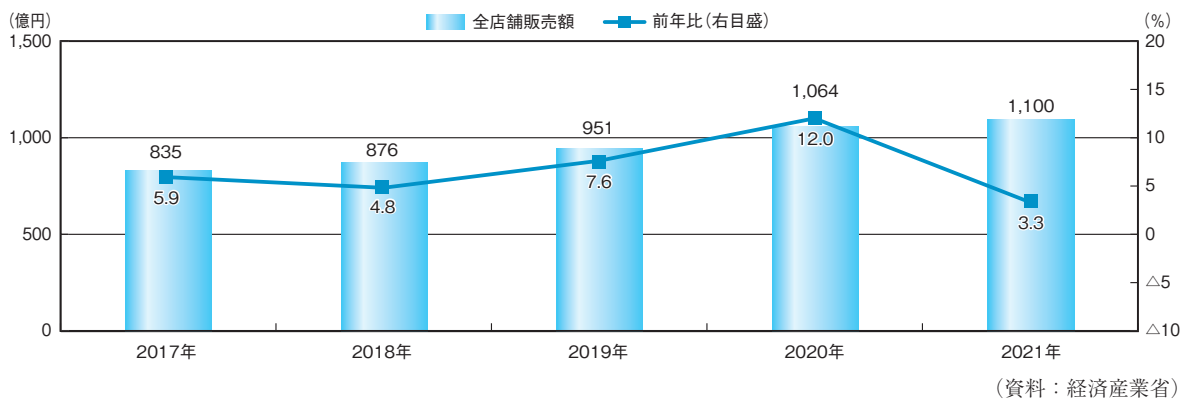
図表3 県内大型小売店販売額の推移



図表4 県内コンビニエンスストア販売額の推移



図表5 県内ドラッグストア販売額の推移



光客数の減少など、人出が引き続き少ないことから、前年実績を下回ったものとみられる（図表4）。

③ ドラッグストア販売額

2021年の県内ドラッグストア販売額は1,100億円（前年比+3.3%）となった。食料品の売上が伸びたことに加え、店舗数が増えたことなどから、前年実績を上回ったものとみられる（図表5）。

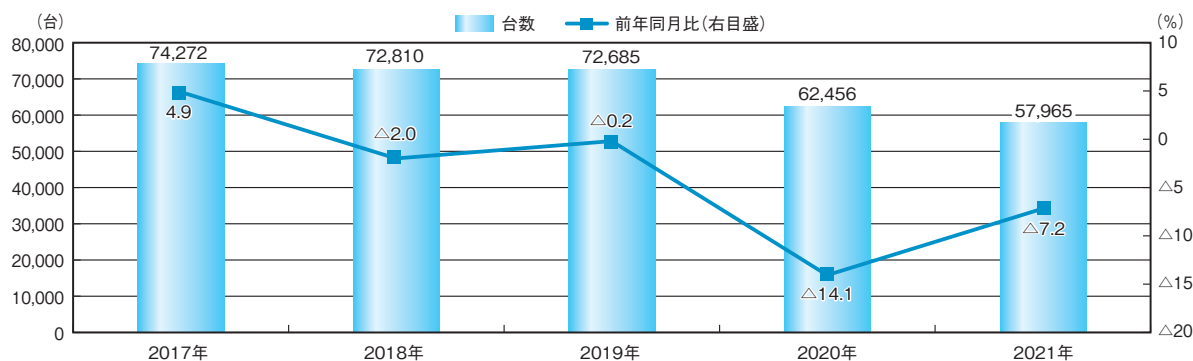
④ 乗用車新車登録台数

2021年の県内乗用車新車登録台数（ナンバー

ベース）は、合計57,965台で前年比△7.2%と前年を下回った（図表6、7）。車種別でみると、普通乗用車が19,897台（前年比+0.3%）と前年をわずかに上回ったものの、小型乗用車が15,622台（同△16.4%）、軽乗用車が22,446台（同△6.2%）とどちらも前年を下回った。

2021年の乗用車新車登録台数は、半導体不足に加え、新型コロナウイルス感染症により東南アジアで自動車部品の生産が滞っていることによる減

図表6 福島県乗用車新車登録台数推移



(資料：(一社)日本自動車販売協会連合会福島県支部)

図表7 県内乗用車新車登録台数の推移(ナンバーベース)

	乗用車新車登録台数		普通乗用車		小型乗用車		軽乗用車	
	(台)	前年比(%)	(台)	前年比(%)	(台)	前年比(%)	(台)	前年比(%)
2018年	72,810	△2.0	23,393	△1.1	21,592	△7.7	27,825	2.2
2019年	72,685	△0.2	23,878	2.1	21,202	△1.8	27,605	△0.8
2020年	62,456	△14.1	19,840	△16.9	18,676	△11.9	23,940	△13.3
2021年	57,965	△7.2	19,897	0.3	15,622	△16.4	22,446	△6.2
2020年 1月	5,145	△10.7	1,677	△4.7	1,506	△11.0	1,962	△15.0
2月	5,851	△9.1	1,715	△16.0	1,770	△4.1	2,366	△7.3
3月	8,304	△13.2	2,529	△24.7	2,797	△3.9	2,978	△9.6
4月	3,766	△31.1	1,013	△37.5	1,321	△18.0	1,432	△35.9
5月	2,739	△48.5	819	△52.3	1,038	△33.9	882	△56.6
6月	4,800	△17.7	1,345	△35.5	1,498	△6.0	1,957	△9.0
7月	5,524	△6.6	1,698	△17.7	1,634	△13.4	2,192	11.4
8月	4,375	△15.6	1,353	△17.4	1,272	△7.2	1,750	△19.6
9月	6,456	△12.6	2,146	△18.6	1,792	△12.1	2,518	△7.1
10月	5,424	24.9	1,843	40.5	1,540	25.6	2,041	13.0
11月	5,402	△16.9	1,961	2.0	1,294	△35.1	2,147	△16.8
12月	4,670	△6.3	1,741	0.9	1,214	△17.1	1,715	△4.6
2021年 1月	5,041	△2.0	1,785	6.4	1,234	△18.1	2,022	3.1
2月	5,656	△3.3	1,831	6.8	1,448	△18.2	2,377	0.5
3月	8,831	6.3	3,025	19.6	2,559	△8.5	3,247	9.0
4月	4,598	22.1	1,448	42.9	1,220	△7.6	1,930	34.8
5月	4,062	48.3	1,376	68.0	1,073	3.4	1,613	82.9
6月	4,416	△8.0	1,602	19.1	1,132	△24.4	1,682	△14.1
7月	4,829	△12.6	1,800	6.0	1,378	△15.7	1,651	△24.7
8月	3,992	△8.8	1,393	3.0	1,088	△14.5	1,511	△13.7
9月	3,999	△38.1	1,437	△33.0	1,036	△42.2	1,526	△39.4
10月	3,684	△32.1	1,155	△37.3	1,021	△33.7	1,508	△26.1
11月	4,794	△11.3	1,556	△20.7	1,302	0.6	1,936	△9.8
12月	4,063	△13.0	1,489	△14.5	1,131	△6.8	1,443	△15.9

(資料：福島県自動車販売店協会)

産が続いたことなどから、全体では4年連続の前年割れとなった。

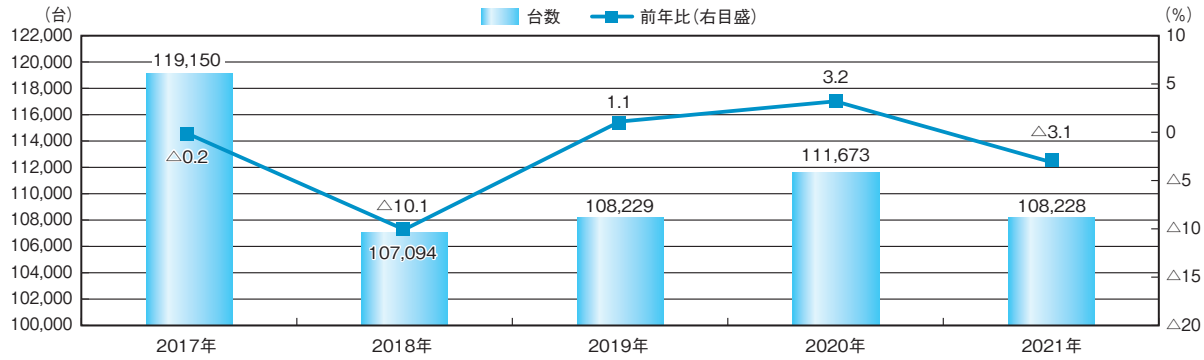
⑤ 乗用車中古車販売状況

2021年の県内乗用車中古車販売台数(軽自動車は名義変更を含む)は、108,228台(前年比△3.1%)となり、3年ぶりで前年を下回った(図表8、9)。車種別で見ると、普通乗用車が36,936台(同△3.7%)、小型乗用車が30,493台(同△6.0%)、軽乗用車が40,799台(同△0.2%)といずれも前年を下回った。

⑥ 県内のガソリン価格

2021年における県内のレギュラーガソリン1リットル当たり店頭価格をみると、経済活動がコロナ禍の最悪期から徐々に持ち直し始めたことにより需要が回復する一方、産油国の協調減産が続き、需給バランスが崩れて原油価格が上昇したことなどから、レギュラーガソリンの価格も年初から上昇し、年後半には170円近くまで高騰した(図表10)。また、県内の軽油1リットル当たり店頭価格もレギュラーガソリンと同様の動きとなり、レギュラーガソリンを20円ほど下回る水準で推移

図表8 福島県中古車販売台数推移



資料：(一社)日本自動車販売協会連合会福島支部  
(一社)全国軽自動車協会連合会

(注) 軽乗用車は名義変更台数含む

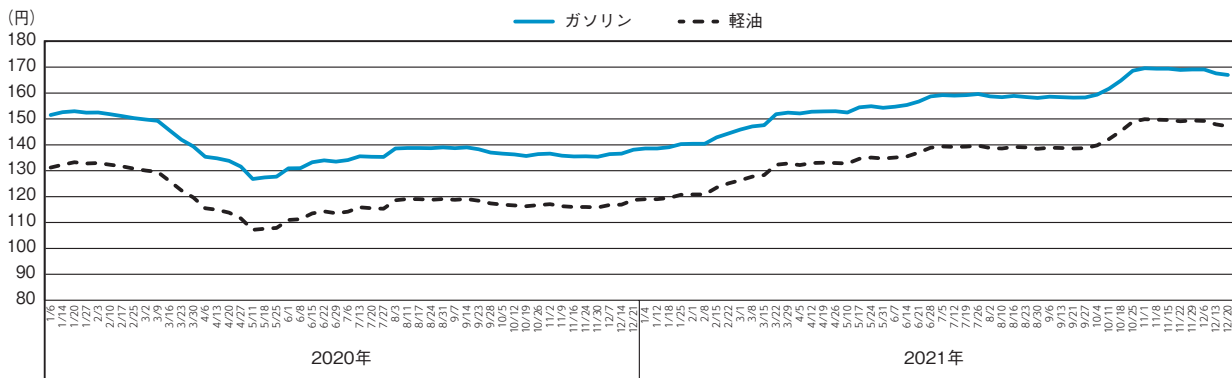
図表9 福島県中古乗用車登録台数

	中古乗用車登録台数							
	中古乗用車登録台数		普通乗用車		小型乗用車		軽乗用車 ※注	
	(台)	前年比 (%)	(台)	前年比 (%)	(台)	前年比 (%)	(台)	前年比 (%)
2018年	107,094	Δ10.1	38,475	Δ0.7	34,802	Δ8.1	33,817	Δ20.6
2019年	108,229	1.1	39,509	2.7	35,263	1.3	33,457	Δ1.1
2020年	111,673	3.2	38,342	Δ3.0	32,449	Δ8.0	40,882	22.2
2021年	108,228	Δ3.1	36,936	Δ3.7	30,493	Δ6.0	40,799	Δ0.2
2020年 1月	8,075	13.6	2,634	4.8	2,310	Δ6.0	3,131	46.7
2月	9,501	13.0	3,234	1.8	2,828	Δ1.9	3,439	46.5
3月	14,915	17.4	4,846	Δ0.6	4,430	Δ7.2	5,639	84.8
4月	9,106	15.3	2,968	Δ3.4	2,517	Δ8.8	3,621	75.2
5月	6,953	Δ4.7	2,374	Δ19.4	2,067	Δ17.8	2,512	36.7
6月	9,162	21.9	3,282	7.2	2,686	7.1	3,194	64.4
7月	9,538	19.6	3,474	1.5	2,777	0.5	3,287	83.7
8月	8,095	Δ0.3	2,862	2.5	2,334	0.3	2,899	Δ3.5
9月	9,350	Δ8.2	3,274	Δ7.1	2,700	Δ6.8	3,376	Δ10.2
10月	9,823	Δ6.6	3,451	10.6	2,891	Δ3.7	3,481	Δ20.8
11月	8,455	Δ22.5	2,943	Δ20.9	2,413	Δ29.7	3,099	Δ17.5
12月	8,700	Δ9.3	3,000	Δ8.5	2,496	Δ15.2	3,204	Δ5.1
2021年 1月	7,650	Δ5.3	2,436	Δ7.5	2,214	Δ4.2	3,000	Δ4.2
2月	8,919	Δ6.1	2,936	Δ9.2	2,531	Δ10.5	3,452	0.4
3月	15,488	3.8	4,971	2.6	4,494	1.4	6,023	6.8
4月	9,328	2.4	3,117	5.0	2,586	2.7	3,625	0.1
5月	7,916	13.9	2,689	13.3	2,285	10.5	2,942	17.1
6月	8,913	Δ2.7	3,128	Δ4.7	2,468	Δ8.1	3,317	3.9
7月	8,418	Δ11.7	3,049	Δ12.2	2,370	Δ14.7	2,999	Δ8.8
8月	7,638	Δ5.6	2,632	Δ8.0	2,061	Δ11.7	2,945	1.6
9月	8,752	Δ6.4	3,044	Δ7.0	2,445	Δ9.4	3,263	Δ3.3
10月	8,744	Δ11.0	3,242	Δ6.1	2,363	Δ18.3	3,139	Δ9.8
11月	8,256	Δ2.4	2,907	Δ1.2	2,324	Δ3.7	3,025	Δ2.4
12月	8,206	Δ5.7	2,785	Δ7.2	2,352	Δ5.8	3,069	Δ4.2

資料：(一社)日本自動車販売協会連合会福島支部  
(一社)全国軽自動車協会連合会

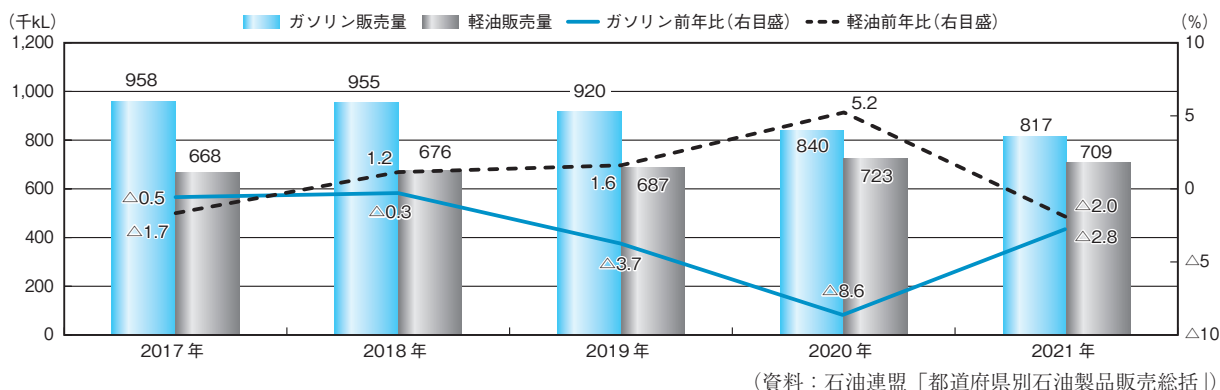
(注) 名義変更台数含む

図表10 県内のガソリン・軽油 店頭価格推移

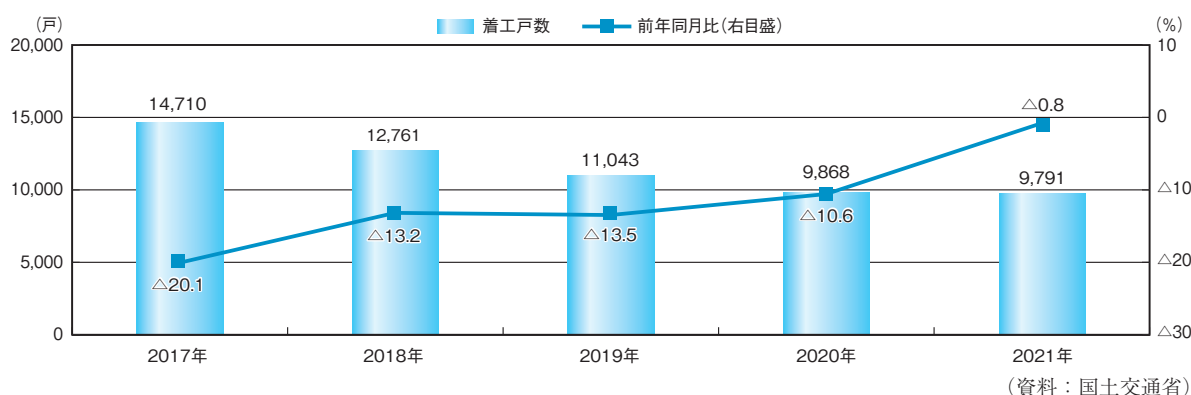


(資料：石油情報センター)

図表11 県内ガソリン・軽油販売量推移



図表12 福島県新設住宅着工戸数推移



図表13 福島県新設住宅着工戸数の推移

	総 計		持 家		貸 家		給 与		分 譲		うちマンション	
	(戸)	前年比 (%)	(戸)	前年比 (%)	(戸)	前年比 (%)	(戸)	前年比 (%)	(戸)	前年比 (%)	(戸)	前年比 (%)
2018年	12,761	△13.2	5,886	△6.6	4,569	△26.7	192	△15.0	2,114	8.4	303	9.8
2019年	11,043	△13.5	5,173	△12.1	3,419	△25.2	71	△63.0	2,380	12.6	419	38.3
2020年	9,868	△10.6	5,129	△0.9	2,811	△17.8	64	△9.9	1,864	△21.7	211	△49.6
2021年	9,791	△0.8	5,355	4.4	2,550	△9.3	72	12.5	1,814	△2.7	0	△100.0
2020年 1月	713	5.5	347	10.5	222	2.3	0	△100.0	144	2.1	0	-
2月	1,090	18.7	565	34.8	374	18.0	2	△90.5	149	△7.5	0	-
3月	810	5.5	394	4.5	246	△10.9	1	△66.7	169	50.9	0	-
4月	908	△17.0	426	△28.0	215	△18.9	22	144.4	245	7.5	91	56.9
5月	478	△20.3	319	△13.8	54	△59.1	2	100.0	103	6.2	0	△100.0
6月	1,007	△31.5	467	△30.4	279	△44.6	10	900.0	251	△14.9	70	112.1
7月	849	△7.8	429	△11.5	289	11.2	0	△100.0	131	△25.1	0	-
8月	740	△4.1	432	12.8	186	△33.6	9	350.0	113	5.6	0	-
9月	762	△31.0	416	△4.1	240	△45.9	5	△80.8	101	△49.8	0	-
10月	891	△1.8	415	△11.7	291	46.2	2	0.0	183	△22.5	50	-
11月	777	△4.9	466	45.2	183	△33.5	8	-	120	△45.7	0	△100.0
12月	843	△15.2	453	34.4	232	△7.2	3	200.0	155	△61.8	0	△100.0
2021年 1月	578	△18.9	293	△15.6	188	△15.3	0	-	97	△32.6	0	-
2月	877	△19.5	413	△26.9	277	△25.9	17	750.0	170	14.1	0	-
3月	640	△21.0	386	△2.0	139	△43.5	4	300.0	111	△34.3	0	-
4月	852	△6.2	417	△2.1	270	25.6	1	△95.5	164	△33.1	0	△100.0
5月	734	53.6	426	33.5	173	220.4	2	0.0	133	29.1	0	-
6月	953	△5.4	569	21.8	232	△16.8	2	△80.0	150	△40.2	0	△100.0
7月	858	1.1	513	19.6	156	△46.0	8	-	181	38.2	0	-
8月	978	32.2	504	16.7	301	61.8	0	△100.0	173	53.1	0	-
9月	771	1.2	459	10.3	170	△29.2	2	△60.0	140	38.6	0	-
10月	914	2.6	482	16.1	303	4.1	9	350.0	120	△34.4	0	△100.0
11月	784	0.9	455	△2.4	168	△8.2	1	△87.5	160	33.3	0	-
12月	852	1.1	438	△3.3	173	△25.4	26	766.7	215	38.7	0	-

(注) 前年比が「-」は前年の数値が「0」。

(資料：国土交通省より作成)

した。一方、年間販売量をみると、ガソリンが816,859kL（前年比△2.8%）、軽油が708,959kL（同△2.0%）と、どちらも前年を下回った（図表11）。

分譲が1,814戸（同△2.7%）と前年を下回った。

県内新設住宅着工戸数の前年割れは、新型コロナウイルス感染拡大による先行き不透明感などから、消費マインドが冷え込んだためと考えられる。

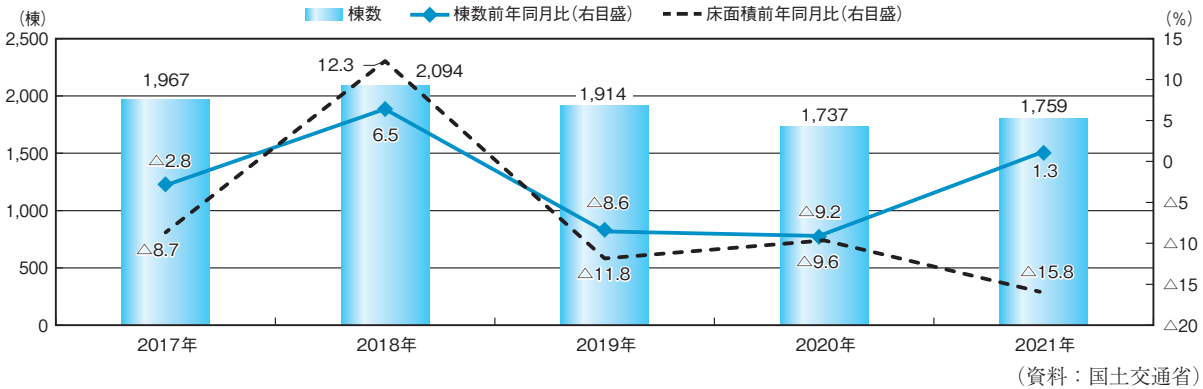
(2) 新設住宅着工戸数

2021年の県内新設住宅着工戸数は9,791戸で前年比△0.8%となり、5年連続で前年実績を下回った（図表12、13）。内訳をみると、持家が5,355戸（前年比+4.4%）、給与が72戸（同+12.5%）と前年を上回ったものの、貸家が2,550戸（同△9.3%）、

(3) 民間非居住用建築物

2021年の民間（公務用を除く）の非居住用建築物（オフィスビルや工場、倉庫等）は、棟数が1,759棟（前年比+1.3%）、床面積が594,338㎡（同△15.8%）、工事費予定額が1,032億円（同△39.9%）となり、棟数が前年を上回ったものの、床面

図表14 福島県着工建築物推移（民間・非居住用）



図表15 福島県着工建築物（用途別床面積）の推移（公務用除く）

	非居住用建築物					
	棟数 (棟)	前年比 (%)	床面積 (㎡)	前年比 (%)	工事費予定額 (万円)	前年比 (%)
2018年	2,094	6.5	885,588	12.3	17,313,656	△4.1
2019年	1,914	△8.6	780,744	△11.8	15,097,185	△12.8
2020年	1,737	△9.2	705,502	△9.6	17,186,174	13.8
2021年	1,759	1.3	594,338	△15.8	10,322,605	△39.9
2020年1月	113	△14.4	33,404	△57.4	755,621	△51.2
2月	137	6.2	69,623	118.7	2,408,468	307.9
3月	147	8.9	81,742	37.8	1,504,509	70.7
4月	205	△3.8	103,976	△5.1	2,466,701	△6.2
5月	114	△13.0	37,118	△25.8	1,232,950	3.8
6月	154	△32.2	51,389	△59.6	1,198,721	△45.4
7月	129	△31.7	50,571	△31.2	868,692	△38.8
8月	142	42.0	66,609	23.2	1,736,723	142.9
9月	134	△28.0	61,819	2.3	1,846,439	79.5
10月	159	△21.3	45,746	△11.7	943,149	△20.1
11月	134	7.2	36,680	0.6	774,334	△11.3
12月	169	16.6	66,825	39.1	1,449,867	70.8
2021年1月	121	7.1	46,075	37.9	1,098,468	45.4
2月	181	32.1	60,454	△13.2	1,051,843	△56.3
3月	125	△15.0	66,380	△18.8	655,340	△56.4
4月	163	△20.5	53,526	△48.5	931,932	△62.2
5月	115	0.9	30,073	△19.0	649,960	△47.3
6月	163	5.8	56,809	10.5	947,844	△20.9
7月	101	△21.7	24,117	△52.3	396,689	△54.3
8月	117	△17.6	39,531	△40.7	723,621	△58.3
9月	163	21.6	38,621	△37.5	811,961	△56.0
10月	149	△6.3	49,373	7.9	868,488	△7.9
11月	156	16.4	41,535	13.2	569,175	△26.5
12月	205	21.3	87,844	31.5	1,617,284	11.5

(資料：国土交通省)

積と工事費予定額は前年を下回った（図表14、15）。

によると、2021年の県内公共工事発注状況は、保証件数が6,762件（前年比△14.1%）、請負金額が5,746億64百万円（同△35.2%）、保証金額が2,812億77百万円（同△34.8%）と、いずれも前年を下

(4) 公共工事前払保証

東日本建設業保証(株)の公共工事前払保証取扱高

図表16 福島県内公共工事前払保証取扱の推移

	保証 件 数		請 負 金 額		保 証 金 額	
	(件)	前年比 (%)	(百万円)	前年比 (%)	(百万円)	前年比 (%)
2018年	6,639	△3.3	614,508	△1.8	297,582	△8.9
2019年	6,885	3.7	653,786	6.4	304,612	2.4
2020年	7,870	14.3	887,008	35.7	431,674	41.7
2021年	6,762	△14.1	574,664	△35.2	281,277	△34.8
2020年 1月	373	12.0	38,081	62.7	18,249	48.3
2月	378	39.0	37,133	△51.1	18,064	△49.0
3月	676	90.4	64,828	7.1	31,927	18.7
4月	515	20.6	73,489	44.2	35,140	52.4
5月	477	△4.4	68,799	7.8	36,119	17.2
6月	846	19.2	66,916	17.9	31,577	30.3
7月	942	14.6	59,252	△2.8	29,361	5.0
8月	717	8.6	111,568	159.2	54,889	174.9
9月	880	13.1	124,660	143.1	59,570	177.0
10月	864	2.9	127,388	168.3	62,086	173.6
11月	642	3.5	84,037	35.3	40,234	30.6
12月	560	△1.6	30,857	△46.3	14,458	△50.0
2021年 1月	361	△3.2	61,162	60.6	32,301	77.0
2月	244	△35.4	43,823	18.0	22,239	23.1
3月	410	△39.3	101,092	55.9	49,624	55.4
4月	427	△17.1	56,015	△23.8	25,743	△26.7
5月	458	△4.0	53,492	△22.2	26,354	△27.0
6月	721	△14.8	56,129	△16.1	26,250	△16.9
7月	857	△9.0	44,629	△24.7	21,214	△27.7
8月	687	△4.2	36,396	△67.4	17,148	△68.8
9月	842	△4.3	42,589	△65.8	21,809	△63.4
10月	790	△8.6	34,251	△73.1	17,131	△72.4
11月	570	△11.2	25,598	△69.5	11,384	△71.7
12月	395	△29.5	19,488	△36.8	10,080	△30.3

(資料：東日本建設業保証(株))

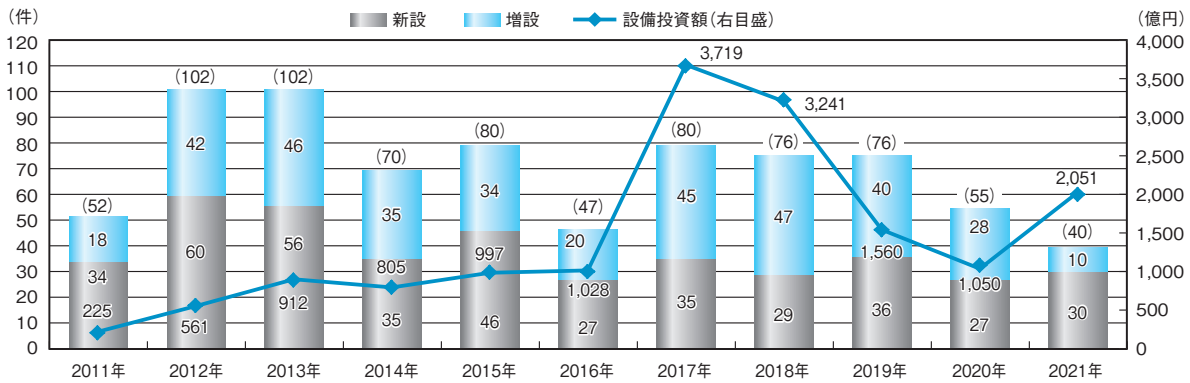
図表17 県内公的工事前払保証請負額の推移

	合 計		主 な 発 注 者 別					
	金 額 (百万円)	前年比 (%)	国		県		市 町 村	
			金 額 (百万円)	前年比 (%)	金 額 (百万円)	前年比 (%)	金 額 (百万円)	前年比 (%)
2018年	614,508	△1.8	251,329	52.5	166,801	△10.7	155,627	△28.6
2019年	653,786	6.4	254,466	1.2	172,168	3.2	183,731	18.1
2020年	887,008	35.7	431,116	69.4	228,205	32.5	193,659	5.4
2021年	574,664	△35.2	233,064	△45.9	177,274	△22.3	133,938	△30.8
2020年 1月	38,081	62.7	17,210	257.6	9,748	2.2	9,200	18.7
2月	37,133	△51.1	18,542	△68.4	9,847	42.8	8,705	△10.1
3月	64,828	7.1	21,593	△8.0	22,995	6.7	17,261	59.6
4月	73,489	44.2	24,523	108.0	22,570	0.2	20,072	112.8
5月	68,799	7.8	31,783	△5.3	14,646	28.7	15,674	9.1
6月	66,916	17.9	22,721	59.1	18,974	37.8	20,517	△0.4
7月	59,252	△2.8	8,426	△9.0	29,869	152.7	20,783	△43.5
8月	111,568	159.2	74,773	640.8	21,636	66.0	14,571	△19.6
9月	124,660	143.1	81,231	1500.6	19,130	8.1	18,493	△12.8
10月	127,388	168.3	78,553	670.9	29,462	26.0	18,573	41.1
11月	84,037	35.3	50,453	22.1	14,078	37.8	16,771	70.0
12月	30,857	△46.3	1,308	△95.9	15,250	47.0	13,039	9.3
2021年 1月	61,162	60.6	37,610	118.5	13,354	37.0	8,136	△11.6
2月	43,823	18.0	27,841	50.2	10,005	1.6	5,015	△42.4
3月	101,092	55.9	76,403	253.8	17,935	△22.0	6,417	△62.8
4月	56,015	△23.8	18,151	△26.0	17,339	△23.2	13,184	△34.3
5月	53,492	△22.2	29,291	△7.8	13,166	△10.1	10,291	△34.3
6月	56,129	△16.1	14,546	△36.0	16,336	△13.9	17,696	△13.7
7月	44,629	△24.7	9,764	15.9	17,908	△40.0	14,185	△31.7
8月	36,396	△67.4	7,131	△90.5	13,398	△38.1	11,228	△22.9
9月	42,589	△65.8	5,594	△93.1	19,369	1.2	16,440	△11.1
10月	34,251	△73.1	3,345	△95.7	18,742	△36.4	11,074	△40.4
11月	25,598	△69.5	1,812	△96.4	11,439	△18.7	11,855	△29.3
12月	19,488	△36.8	1,576	20.5	8,283	△45.7	8,417	△35.4

(資料：東日本建設業保証(株))



図表18 県内工場立地状況



( ) 内は件数合計

(資料：福島県商工労働部企業立地課)

回った(図表16)。請負金額を主な発注者別にみると、国が2,330億64百万円(同△45.9%)、県が1,772億74百万円(同△22.3%)、市町村が1,339億38百万円(同△30.8%)となり、中間貯蔵施設の建設など国発注の復興事業の減少による影響が最も大きかった(図表17)。

#### 4. 工場立地状況

2021年の県内工場立地状況をみると、件数は新設が30件、増設が10件で合計40件と前年比で15件減少したが、設備投資額は2,051億円と前年比で1,001億円増加した(図表18)。業種別にみると、「電気業」が6件で最も多く、次いで、「化学」「窯業・土石」「金属製品」が5件などとなった(図表19)。

また地域別にみると、立地件数では、相双の12件が最も多く、次いで、県中が10件、県北が9件などの順となっている(図表20)。雇用計画人員では、多い順に、県中が485人、相双が339人、県北が221人などとなっている。

#### 5. 生産動向

福島県の鉱工業生産指数(季節調整済指数、2015年=100)をみると、2021年は2月の80.8を底に緩やかな持ち直しの動きがみられ、11月が90.2と90を超えたものの、12月は87.6と再び90を割り込んでいる(図表21)。また、東北および全国と比較すると、2021年は一貫して東北および全

図表19 業種別にみた県内工場立地件数 (単位：件)

業種	2020年	2021年	比較
電気業	0	6	6
化学	6	5	△1
窯業・土石	7	5	△2
金属製品	4	5	1
繊維工業	0	3	3
輸送用機械	3	3	0
食料品	4	2	△2
ゴム	0	2	2
電気機械	2	2	0
その他製造業	1	2	1
家具・装備品	0	1	1
パルプ・紙	2	1	△1
印刷	1	1	0
鉄鋼	2	1	△1
生産用機械	7	1	△6
木材・木製品	4	0	△4
プラスチック	4	0	△4
非鉄金属	1	0	△1
はん用機械	1	0	△1
業務用機械	2	0	△2
電子部品・デバイス	3	0	△3
情報通信機械	1	0	△1
合計	55	40	△15

(資料：福島県商工労働部企業立地課)

国の指数を下回る状況が続いた。一方、2021年の四半期別季節調整値の前期比をみると、第1四半期と第4四半期が前期を下回ったものの、第2四半期と第3四半期は前期を上回った(図表22)。

#### 6. 雇用動向

2021年の有効求人倍率(季節調整値)をみると、年初から緩やかな上昇基調で推移しており、12月は1.35倍と2021年で最も高い水準となった(図表23)。地域別の有効求人倍率(原数値)をみると、浜通りは相双地域の求人倍率が高かったことから、

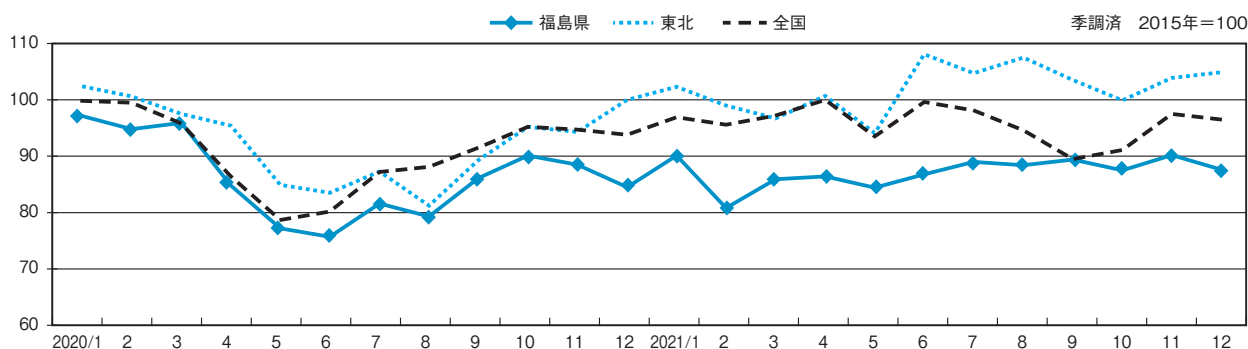
図表20 方部別立地・雇用計画状況

(単位：件、人、%)

地区別	2020年(1月～12月)		2021年(1月～12月)		前年比	
	件数	雇用計画人員	件数	雇用計画人員	件数	雇用計画人員
県北	11	125	9	221	△18.2	76.8
県中	14	284	10	485	△28.6	70.8
県南	4	356	3	76	△25.0	△78.7
会津	6	62	1	1	△83.3	△98.4
相双	11	198	12	339	9.1	71.2
いわき	9	93	5	92	△44.4	△1.1
計	55	1,118	40	1,214	△27.3	8.6

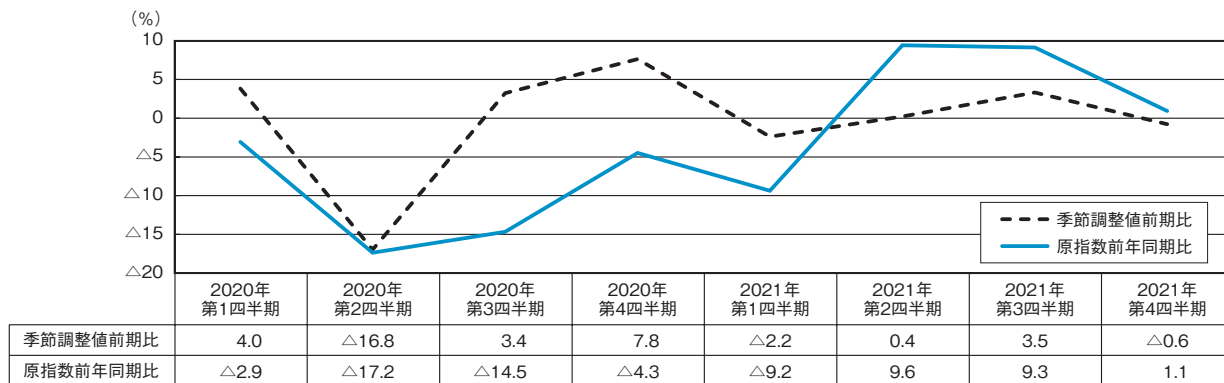
(資料：福島県商工労働部企業立地課)

図表21 福島県鉱工業生産指数(全国、東北との比較)



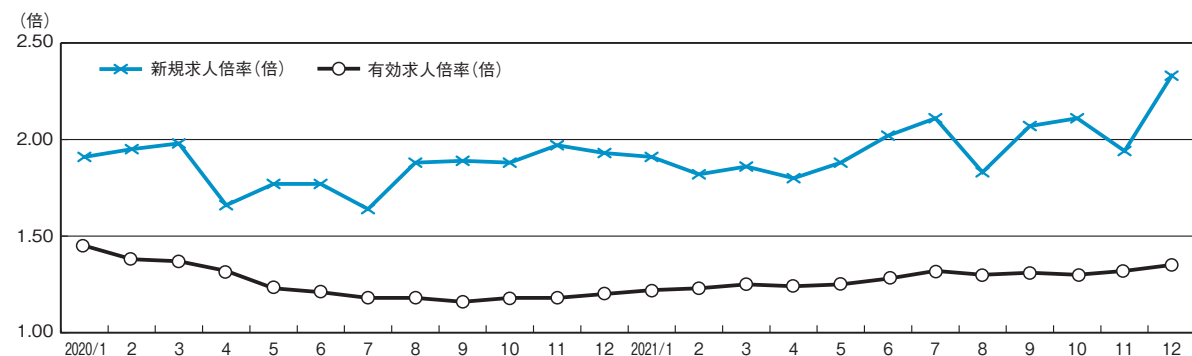
(資料：福島県企画調整部統計課)

図表22 福島県鉱工業生産四半期指数推移



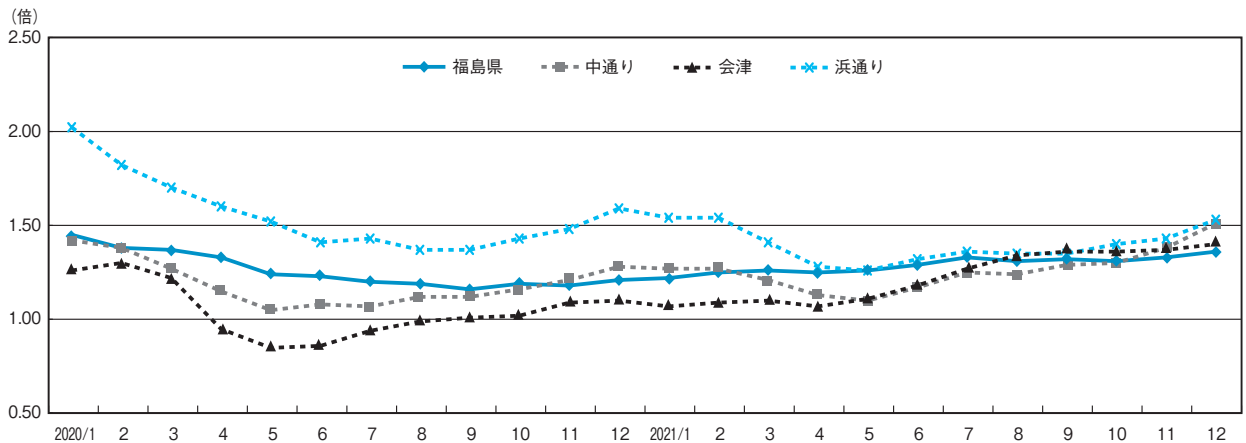
(資料：福島県企画調整部統計課)

図表23 福島県求人倍率(学卒を除きパートを含む季節調整値)推移



(資料：福島労働局職業安定部)

図表24 地域別の有効求人倍率（原数値）



（資料：福島労働局職業安定部）

図表25 主要産業別新規求人数の推移

（単位：人、％）

	合計		建設業		製造業		卸・小売業		宿泊、飲食サービス業		サービス業	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	
2019年	179,643	△2.9	26,127	6.3	21,237	△12.3	23,092	△7.3	12,097	2.0	27,136	△7.8
2020年	150,687	△16.1	25,706	△1.6	15,852	△25.4	16,822	△27.2	7,785	△35.6	21,232	△21.8
2021年	156,845	4.1	26,396	2.7	20,190	27.4	16,457	△2.2	8,936	14.8	24,346	14.7
2020年 1月	14,303	△8.7	1,823	△15.6	1,461	△29.8	1,407	△27.8	960	3.3	1,582	△36.6
2月	14,961	△11.7	1,916	△18.0	1,450	△23.0	1,699	△23.0	715	△21.9	1,811	△32.7
3月	14,807	△5.3	2,377	11.5	1,612	△15.1	1,776	△17.6	745	△24.1	1,987	△16.0
4月	10,508	△27.4	1,995	△4.3	1,199	△37.6	1,086	△39.2	451	△50.6	1,632	△27.0
5月	9,768	△34.1	1,865	△14.0	1,018	△38.9	1,358	△36.0	295	△68.6	1,285	△44.8
6月	12,917	△8.6	2,576	27.6	1,242	△27.1	1,406	△25.4	806	9.4	1,826	△23.9
7月	11,683	△19.9	2,192	△1.0	1,053	△42.8	1,226	△31.8	457	△59.4	1,649	△19.8
8月	11,236	△25.6	1,876	△9.6	1,405	△12.2	1,216	△38.3	633	△52.2	1,689	△22.0
9月	13,057	△10.8	2,484	13.4	1,399	△23.5	1,584	△22.2	592	△23.7	2,011	△18.6
10月	13,096	△12.8	2,521	△5.9	1,377	△20.8	1,454	△18.0	751	△41.9	1,961	△2.1
11月	11,921	△19.7	1,844	△7.8	1,322	△10.9	1,231	△27.3	901	△38.1	1,715	△11.8
12月	12,430	△9.9	2,237	8.1	1,314	△17.6	1,379	△19.5	479	△32.6	2,084	5.4
2021年 1月	12,868	△10.0	2,252	23.5	1,525	4.4	1,335	△5.1	470	△51.0	1,863	17.8
2月	12,587	△15.9	1,940	1.3	1,367	△5.7	1,255	△26.1	785	9.8	1,888	4.3
3月	14,602	△1.4	2,338	△1.6	1,710	6.1	1,599	△10.0	682	△8.5	2,326	17.1
4月	12,885	22.6	2,482	24.4	1,588	32.4	1,305	20.2	487	8.0	2,091	28.1
5月	10,807	10.6	1,817	△2.6	1,471	44.5	1,251	△7.9	663	124.7	1,563	21.6
6月	13,625	5.5	2,506	△2.7	1,702	37.0	1,499	6.6	558	△30.8	2,218	21.5
7月	12,892	10.3	2,318	5.7	1,787	69.7	1,213	△1.1	537	17.5	2,173	31.8
8月	10,760	△4.2	1,607	△14.3	1,599	13.8	1,165	△4.2	509	△19.6	1,657	△1.9
9月	14,182	8.6	2,649	6.6	1,894	35.4	1,617	2.1	650	9.8	2,221	10.4
10月	14,315	9.3	2,555	1.3	1,903	38.2	1,340	△7.8	758	0.9	2,421	23.5
11月	12,338	3.5	1,691	△8.3	1,695	28.2	1,297	5.4	802	△11.0	1,739	1.4
12月	14,984	20.5	2,241	0.2	1,949	48.3	1,581	14.6	2,035	324.8	2,186	4.9

注：合計は、5業種の合計と一致しない。

（資料：福島労働局職業安定部）

福島県、中通り、会津を上回って推移した（図表24）。また、主要産業別新規求人数（パート含む）をみると、「卸・小売業」を除いた「建設業」「製造業」「宿泊、飲食サービス業」「サービス業」が前年比で増加した（図表25）。

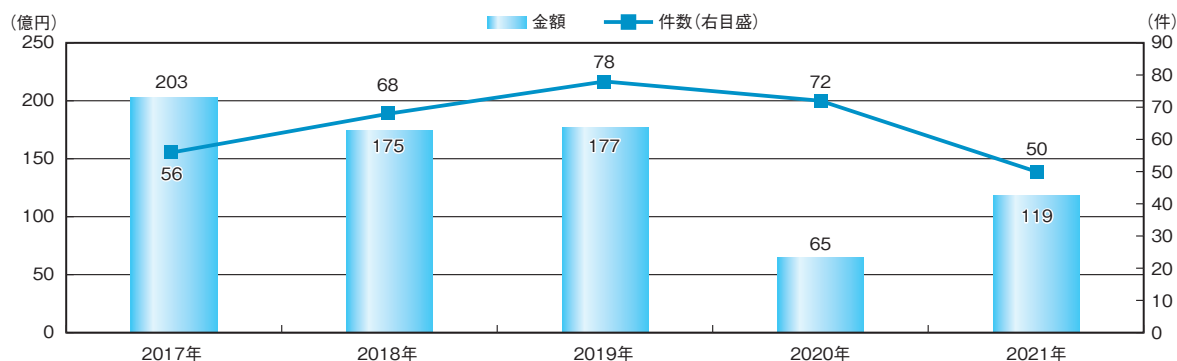
## 7. 企業倒産

2021年の企業倒産（負債総額10百万円以上）は、件数が50件（前年比△30.6%）、負債総額が119億

23百万円（同+83.7%）となり、件数が前年を下回ったが、負債総額は前年を大きく上回った（図表26、27）。

業種別にみると、件数では、「建設関係」12件（構成比24.0%）、「サービス」11件（同22.0%）などとなり、「建設関係」と「サービス」で全体のほぼ半数を占めている。負債総額では、「卸売」が30億11百万円（同25.3%）で最も多く、次いで、「サービス」29億43万円（同24.7%）、「製造」26億59百万円（同22.3%）などの順となった（図表28）。

図表26 福島県企業倒産（負債総額10百万円以上）件数・金額推移



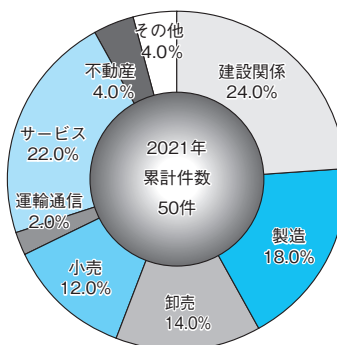
(資料：帝国データバンク福島支店)

図表27 県内企業倒産（負債金額10百万円以上）の推移

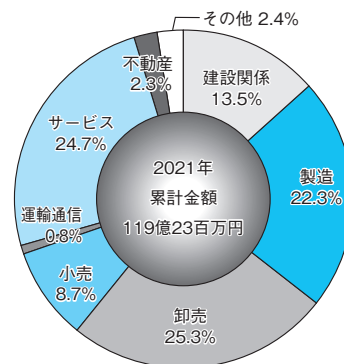
	件数		負債金額	
	(件)	前年比 (%)	(百万円)	前年比 (%)
2018年	68	21.4	17,451	△13.8
2019年	78	14.7	17,699	1.4
2020年	72	△7.7	6,492	△63.3
2021年	50	△30.6	11,923	83.7
2020年 1月	9	350.0	702	△39.5
2月	2	△71.4	70	△88.5
3月	10	11.1	991	△25.0
4月	6	100.0	707	206.1
5月	3	0.0	141	0.7
6月	7	40.0	273	△96.6
7月	5	△37.5	512	△26.0
8月	6	50.0	1,410	143.9
9月	3	△70.0	190	△92.4
10月	13	18.2	1,129	10.1
11月	5	△28.6	329	103.1
12月	3	△66.7	38	△97.0
2021年 1月	3	△66.7	222	△68.4
2月	2	0.0	1,851	2,544.3
3月	2	△80.0	860	△13.2
4月	1	△83.3	70	△90.1
5月	5	66.7	427	202.8
6月	8	14.3	694	154.2
7月	5	0.0	2,800	446.9
8月	7	16.7	446	△68.4
9月	3	0.0	922	385.3
10月	2	△84.6	157	△86.1
11月	7	40.0	2,092	535.9
12月	5	66.7	1,382	3,536.8

(資料：帝国データバンク福島支店)

図表28 県内企業倒産 業種別累計件数の割合



県内企業倒産 業種別累計金額の割合



(資料：帝国データバンク福島支店)

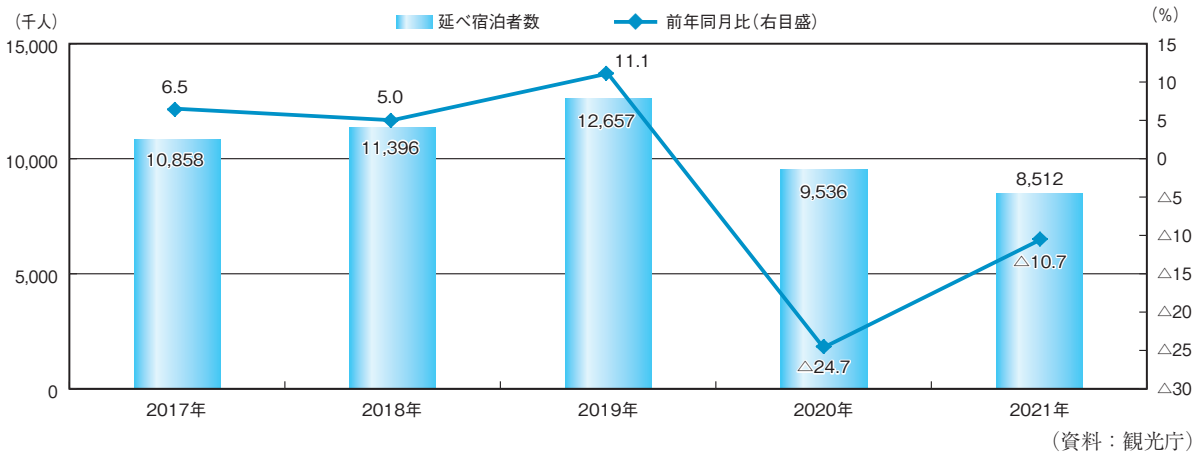
## 8. 延べ宿泊者数

2021年の県内延べ宿泊者数は、年間8,512千人（前年比△12.3%）と新型コロナウイルス感染拡大を背景に宿泊を伴う旅行を自粛する傾向がみられたことなどから前年を下回った（図表29）。

## 9. 貿易

2021年における福島県の貿易概況（小名浜港、相馬港、福島空港の合計）は、輸出額が1,246億円（前年比△14.3%）、輸入額が5,335億円（同+15.9%）で、輸出入額合計は6,580億円（同+8.7%）となり、輸入額の増加により前年を上回った（図

図表29 県内延べ宿泊者数推移



図表30 福島県貿易額推移 (合計：小名浜港・相馬港・福島空港)

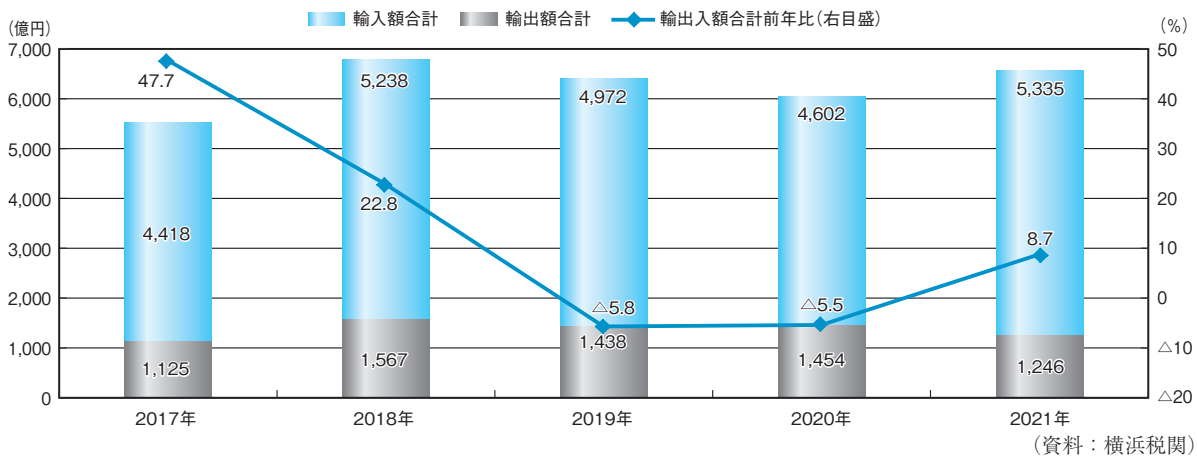


表30)。

港・空港別にみると、相馬港は輸出額が原動機(ジェットエンジン)の増加などにより372億円(同+7.0%)、輸入額が石炭および液化天然ガスの増加などにより1,783億円(同+43.5%)、合計が2,155億円(同+35.5%)となった。小名浜港は輸出額が医薬品の減少などから873億円(同△21.0%)、輸入額が金属鉱・くずや石炭の増加などから3,552億円(同+5.7%)、合計が4,425億円(同△0.9%)となった。なお、福島空港は輸出入ともに実績がなかった。

## 10. まとめ

2021年の県内経済をみると、新型コロナウイルス感染拡大による影響が業種・業態間の明暗を分

けた。外出自粛は、観光客数の減少などによる人出の減少を引き起こし、観光業の延べ宿泊者数やコンビニエンスストア販売額などを押し下げた。また、新型コロナウイルス感染拡大を背景とした消費マインドの冷え込みが一因となって、住宅投資が落ち込んだものと考えられる。一方、外食を減らしたことによる内食および中食の増加は、飲食料品を中心に大型小売店やドラッグストアの販売額を押し上げたものとみられる。

こうした状況下で、宿泊割引「福島県県民割プラス」や新型コロナウイルスのワクチン接種3回目が今春から始まったことなどから、厳しい経営を強いられてきた観光業や飲食業をはじめとした県内企業の業況が持ち直すことに期待したい。

(担当：和田賢一)